

# 林業福島

No. 567

題字 福島県知事 佐藤雄平



Fight!  
Fukushima! がんばろう  
ふくしま!

11 2011

かんしゅう■福島県農林水産部  
表紙の写真■炭焼き体験



# 美しいふくしまの森に思いを馳せて

滋賀県知事

嘉田 由紀子

「福島再生なくして日本の復興なし」。野田首相の心強い覚悟です。今回の原発事故には東電と国に大きな責任があります。「加害者負担原則」(PPP)により、国には、被災者救済と被害の最小化に努めてもらいたいと考えます。

それにしても、「うつくしまふくしま」。「築城一〇〇年、落城一日」、佐藤雄平知事から直接うかがった無念の思いに、自治体を預かる同じ立場の知事として、心が痛みます。

このたびの東日本大震災によつて被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。特に福島県民の皆様には、原子力発電所の事故も重なり農産物や工業製品等に対する風評被害についても苦しまれていることに大変心を痛めております。

福島県は本県日野町出身の戦国武将・蒲生氏郷が会津藩主になるなど滋賀県と歴史的にもつながりが深い地でもあり、今回の大震災に際しては特別な思いを持つて支援にあたらせていただきました。関西広域連合としても、震災発生直後から、京都府とともに、現地に連絡所を設置させて、少しでも福島県民の皆さんのお役に立てばと努めてきたところです。滋賀県内の市町にも協力を呼びかけて、公共施設をはじめとする宿泊施設への避難者の受け入れにも手を挙げさせていただきました。

非常時にも冷静さを失わない福島の皆様からは、多くのことを学ばせていただきました。

今回の未曾有の大震災で、福島県内における森林・林業被害は、海岸の防潮林の損失や山腹崩壊などの森林被害、路面損傷や法面崩落などの林道被害、さらにはキノコ栽培施設の損壊や林産物の風評被害など甚大なものがあると聞いております。

森林は、自然災害防止や水源かん養、そして人びとの暮らしと切り離すことができない、何ものにも代えがたい貴重な財産です。豊かな森林は、豊かな水を育み、農林水産業をはじめとする様々な産業と、多くの人びとの生活を支えています。一刻も早い美しい福島山の山々の森林・林業・木材産業の復旧・復興を願ってやみません。

最後に、被害を受けられた森林所有者の方々をはじめ、林業関係者の皆様へ改めてお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興に向け、心からのエールを贈らせていただきます。

## 《も く じ》

とびら	
美しいふくしまの森に思いを馳せて	
滋賀県知事 嘉田 由紀子	1
海岸防災林の被害状況と復旧に向けて	2～4
林業研究センターだより	5～6
林道を訪ねて3,000kmシリーズ (第1回)	
県南地方で初めての峰越林道	
「大拱線」の測量と設計	7

普及指導員通信	8
木材市況・ふくしま東西南北	9
森連だより	10
福島水源林整備事務所だより	11
苗協メモ	12
はなしのひろば	13



写真1 被災前（相馬市 十二本松地区）



写真2 被災後（相馬市 十二本松地区）

# 海岸防災林の被害状況と復旧に向けて



森林保全課

## 一 海岸防災林の被害状況

三月十一日に発生した東日本大震災の揺れや津波により県内では多くの治山被害が発生しました。

治山関係の被害は県全体で一・一三億、約一四三億円（福島県農林水産部第二報：四月二七日現在）となっています。

## ○被害概況

福島県の海岸線は一五八キロメートルありますが、そのうち保安林がある海岸が三六キロメートルで二六一センチのマツ林等が整備されておりました。津波により一五五センチ（約五九センチ）が流失等の被害を受けたと想定しております。（原子力発電所の事故により警戒区域等があり現地調査が実施されていないため、写真判読を含む）

特に相馬市及び南相馬市は津波の被害がひどく、二二七センチ（約九五センチ）が流失しております。

## ○主な被害状況

### ●相馬市 大洲地区 ほか

相馬市の松川浦を形成する大洲地区、昼小屋地区、十二本松地区において約七〇センチのマツ林があり、白砂青松の景観を形成し、後背地の農地等を塩害等から保全しておりましたが、高さ一四・五メートルの津波によりそのマツ林はほとんど流出してしまいました。若齢林分や単木的に被害を受けなかったものもありましたが、地震による地盤沈下等により現在は枯れてしまったものが多くなくなっております。また、民有林に接して海側は国有林になっておりましたが、同じように被害を受けなくなっている状況にあります。（写真1～4）



写真4 被災後（相馬市 大洲地区）



写真3 被災前（相馬市 大洲地区）



写真5 被災前（南相馬市鹿島区北海老字釜舟戸地内）



写真6 被災後（南相馬市鹿島区北海老字釜舟戸地内）

## ●南相馬市 鹿島地区 ほか

南相馬市鹿島区北海老、南海老等で約三五畝のマツ林がありました。津波によりその全てが被害を受けました。津波高の痕跡は確認されておりませんが、二〇・八メートルまで遡上したことが確認されております。（写真5・6）

### ●いわき市 新舞子海岸

海岸線に沿って約五・五メートルほど民有林・国有林のマツ林が整備されております。ここには、約七・六メートルから九・二メートルの津波が襲った痕跡は確認されておりますが、海岸林の被害は比較的少なく、地震直後の調査では約一畝が流失している程度でありました。多くのマツ林が残ったことから、津波による瓦れき等が捕捉され、後背地の農地には海水しか入らなかったことから、春の除塩のみで今年度の稲作が実施されるなど地元からは、保安林があつてよかつたという声が聞かれます。

しかし、地震による地盤沈下によりマツ林が枯れ始めている状況が報告されており、今後被害面積が増えることが想定されます。（写真7・8）

## 二 復旧に向けて

### ○国の考え方

中央防災会議においては、地震・津波に強いまちづくりを進めるために多重防護と施設整備を行うとしており「粘り強い海岸保全施設等」に海岸防災林が含まれることから、構造的に強い保安林にする必要があります。

一方、林野庁に「東日本大震災に係る海岸防災林の再生に関する検討会」が設置され、海岸防災林のあり方が検討されており、七月に中間報告が示されました。

中間報告では、保安林が一定の津波減衰効果を発揮したことから、その効果を最大限に発揮できるように林帯幅を二〇〇メートル以上確保することが望ましいとされております。

### ○県の復旧の考え方

県においては、八月に復興ビジョンを策定し、それを踏まえた復興計画を現在策定中であります。それらの中で、海岸防災林についても復旧する方向で検討しているところであります。具体的には今後、市町村が策定する復興計画やその中で示され



写真7 いわき市 新舞子地区  
津波を減衰した海岸防災林

る土地利用計画に基づき、住民の安全と安心を守るために海岸保全林がどのようにあるべきか協議を行いながら早急に整備を行っていききたいと考えております。

その整備においては、健全なマツ林等を造成するためには、植栽した松等の根が健全に育つ環境を整備する必要があります。そのため、地盤沈下等が著しい箇所においては、地下水位より将来的に3メートルの高さが確保できるところまで土砂を盛りそこに植栽することを基本に考えております。



写真8 いわき市 新舞子地区  
津波のガレキを捕捉した海岸防災林

○実施における問題点等

現在の海岸防災林は、相馬市の大洲地区やいわき市の新舞子地区を除くと林帯幅が狭く、国の「東日本大震災に係る海岸防災林の再生に関する検討会」の中間報告にあるように津波に対する減衰効果を発揮させるためには、新たに保安林の区域を拡大することが必要となります。

また、マツ林等が健全に育つ環境を整備するための盛土についても大量の土砂の確保が必要となります。加えて、福島県はマツクイムシによりマツ林の被害が続いていること

から、マツクイムシに抵抗性のあるマツ苗木の確保も課題となります。

保安林の林帯の確保については、現在検討されている「東日本大震災復興特別措置法」の活用が可能であり、その用地についても国において検討がなされている状況にあります。

また、土砂については、津波で大量に発生した堆積物の活用が検討されており、今後、使用に関する基準等が策定されれば、それらの活用も可能と考えております。

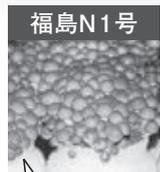
○白砂青松の景観の復興のために

海岸線のマツ林は先代の方々が非常に苦勞し長い年月をかけて整備、維持されてきたものです。今回の震災でその多くを失いましたが、今、私たちがそれを復旧し、後世へ残していくことが求められております。

県といたしましても最大限、復旧に取り組んでいく計画であります。その復旧に際しては、住民参加によるボランティアによる整備も計画しておりますので、その際は、是非参加していただきたいと思いますと考えております。

## きのこで地域を元気に (財)福島県きのこ振興センター

### ●菌床栽培用ナメコ(登録品種)



安定多収量

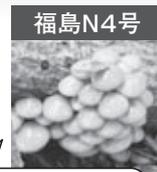


大型・滑り少

### ●原木栽培用ナメコ(登録品種)



コナラ原木で安定・多収量  
食物繊維、ペクチン様物質豊富



### ○その他各種種菌

- 菌床
  - ・シイタケ
  - ・ハタケシメジ
  - ・ムラサキシメジ等

- マイタケホダ木
- 栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926  
E-mail:f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL:http://www.f-kinoko.org

# 林業研究センターだより サクラの秋季のつぎ木に 挑戦してみませんか



林業研究センター森林環境部専門研究員

渡 邊 次 郎

## ●はじめに

福島県内には国、県および市町村指定の天然記念物や県指定緑の文化財のサクラが数多くありますが、それらの多くは老齢であり、樹勢が衰退しつつある個体も見受けられます。これらの貴重な個体の消滅に危機感を抱いた関係機関や地域住民は、従来の保護に加えて積極的に後継樹の育成（遺伝資源の保存）に力を入れるようになってきました。

このような背景を踏まえて、当センターでは様々なサクラのクローン増殖技術の開発に取り組んでいます。ここでは、当センターが開発した秋季に採取直後の穂木と台木を結合させて越冬させるつぎ木について紹介いたしますので、ぜひ挑戦してみてください。

## ●材料と方法

### (一) 穂木および台木

穂木は、当センター内に植栽保存してある当地方の天然記念物や名木等をつぎ木として三〜八年経過したクローン苗五品種の当年伸長枝を用いました(表一)。台木にはオオヤマザクラ、もしくはシダレザクラの二年生実生苗を用いました。十月下旬から十一月月上旬に直径十

七センチ、深さ二〇センチのプラスチック製の鉢に植えて露地で管理しておきます

穂木名	台木名	つぎ木本数
ヤマザクラ1(ヤマ1)	オオヤマ	20
ヤマザクラ2(ヤマ2)	オオヤマ	24
シダレザクラ(シダレ)	シダレ	13
オオヤマザクラ(オオヤマ)	オオヤマ	21
サトザクラ(サト)	オオヤマ	16

( )は略語である。

表一 穂木および台木の種類

た。それぞれの穂木と台木の品種の組み合わせは業者等の情報と当センターのつぎ木試験結果をもとに最適と考えられるものを選択しました。

### (二) つぎ木

十一月中旬に「あげつぎ」による「切りつぎ法」で行いました。つぎ穂と台木の結合部につぎ木テープを五回巻き、さらに、テープと結合部間に隙間が生じないようにペースト状の殺菌剤を塗布して完全に被覆し、結合部と穂木の萎凋防止を図りました。

### (三) 養生

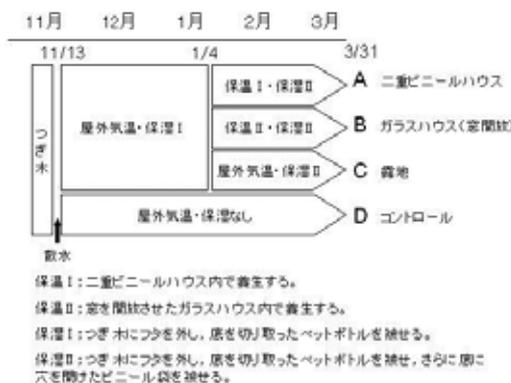
つぎ木を行った翌日から翌年の一月月上旬までつぎ木苗にフタを外して底を切り取った二重のペットボトルを被せて保湿し、屋外で養生しました。その後、つぎ木苗にさらに両角を三センチ切り取った三八×二六センチのビニール袋を被せて保湿し(以下、保湿Ⅱとします)、三月末日まで二重構造のビニールハウス(A)、窓を開放させたガラスハウス(B)、屋外(C)、さらにこれらの対照として、屋外で保湿なし(D)を設定しました。

灌水はつぎ木後は二週間に一度行い、年が明けてからは四週間に一度にしました。この時、鉢の土の表面が水を含んだ程度になるようにしました。(図一、写真一)

### ●結果と考察

#### (一) 養生条件毎のペットボトル外の気温

Aの日平均気温は、つぎ木苗を養生するために搬入した時点で約一〇℃に上昇し



図一 養生の方法と時期



写真一 養生条件Bの状態

ていました(図一)。気温はその後徐々に上昇し、当地方の四月上旬の日の平均気温と同様の状態が維持されました。また、日最高気温が三〇℃を大幅に上回る日が何日も記録されましたが、日最低気温は〇℃以下になる日はほとんどありませんでした。これらのデータは地上高約二メートルの値であり、つぎ木苗付近(地上高約三〇センチ)では数度以上低い値を推移し

たと考えられます。一方、CとDは、屋外であるため、日最高気温はAのほぼ三分の一で、日最低気温が0℃以下になる日が多い結果となりました。B（窓を開放させたガラスハウス内）の気温は測定していませんが、C（屋外）よりは高く推移したと考えられました。

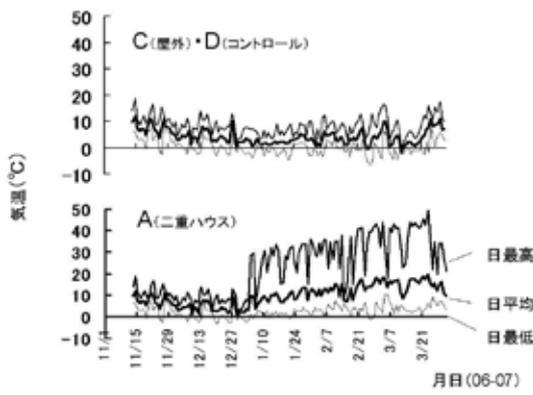


図-2 養生条件毎のペットボトルの気温

(二) 養生条件毎のペットボトル外の湿度  
Aの日最高湿度は九九・五割以上に維持されていきました(図-3)。日最低湿度は施設への出入りのために扉を開くことによつて低下した時を除けばほぼ八〇割以上を維持しました。C、Dは最低湿度が六〇割以下になる日が多く見られました。A、Cでは保湿Ⅱの処理を行っています。

(三) 養生条件毎の活着率  
養生時の気温が高い条件ほど開芽・開葉が早くなりました。Aでのサクラの冬芽は一月二日に、また、Bでの冬芽は三月

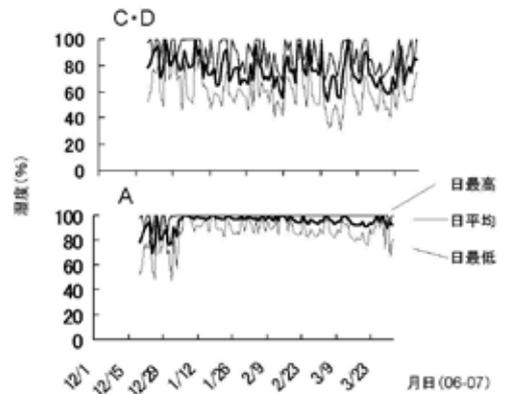


図-3 養生条件毎のペットボトルの湿度



写真-2 2月中旬の冬芽の状態

一日にほとんどの鱗片が開き始め、鱗片と鱗片の間に黄緑色の芽が確認されました。その後、Aでは二月二〇日、Bでは三月十日に開葉が開始しました(写真-2)。Cでは三月二八日に開芽し、四月二七日に開葉が開始しました。Dでは一つの苗木も冬

芽が開芽しませんでした。

このことから、気温が高い条件ほど活着率が高くなる傾向が見られました。活着率はAでは六六・七割、一〇〇割、Bでは五〇割、八三・三割、Cでは三三・三割、六六・七割、Dでは〇割でした(図-4)。

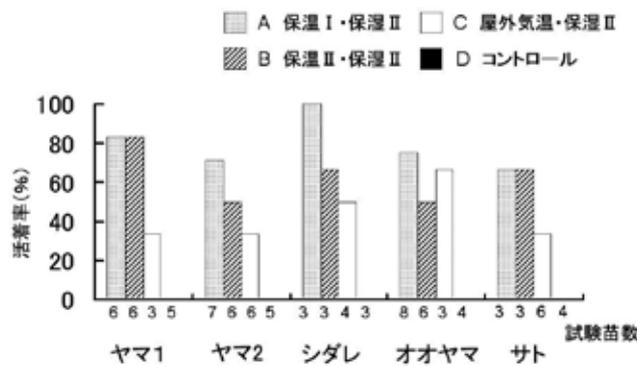


図-4 各条件毎の活着率

また、活着率は品種によつては、例えばオオヤマのように、AとCの差がほとんどない場合もありました。

ここでは従来の方法によるつぎ木を行っていないので、その方法による場合の活着率との比較はできませんが、五割以下という情報が多いことから、C条件(屋外+保湿Ⅱ)でも三〇割以上の活着率が得られたことの意味は大きいと言えます。つまり、つぎ木の養生には必ずしも高温を維

持することや保温することは必要ではなく、むしろ、湿度を高い状態で維持することが重要なのではないかと考えられます。マツのつぎ木においても、高い活着率を得るには六〇割以上の湿度が必要であることから、樹種を問わず保湿が重要であると考えられます。

● おわりに

今回の方法は、従来のつぎ木法によらずとも十分な活着率が得られるだけでなく、簡易な施設でもつぎ木を行うことができるメリットがあります。また、温度条件の影響が少ないことから、本県に限らず、他の地域でも検討する価値はある方法だと考えられます。

特に当地方ではAやBのような方法で、温度をかけることによつて野外のサクラが咲く時期には十分につぎ木苗が生長することから、年一回のつぎ木が可能になります。

今後は穂木の保存の有無、品種間や樹齢などによる活着率の差について検証し、穂木と台木が活着するための条件を明らかにしていきたいと考えています。なお、今回の試験では、高齢樹から採取した穂木を直接ついでいないため、この方法の可否については不明です。今後さらに改良したつぎ木技術の向上に寄与したいと考えています。

最後に、本研究は三月に発生した震災対応のため研究を中止していることを申し添えます。



## 林道を訪ねて3,000kmシリーズ（第1回）

# 県南地方で初めての峰越林道 「大拱線」の測量と設計

おおぬかり

技術士 中村多伸

### はじめに

森林土木の中でも林道に係わった長い間には、多くの出会いがあり、忘れられない思い出の林道も数多くあります。現役を退いて、懐かしさのあまり平成9年から赴任地を中心に県内各地を歩きながら、あの林道は、元気であるのか、お役に立っているのか等々、様々な思いを込めて訪ねて見ました。今回は、こうしたリポートを載せてくれるとの話になり、私事であり参考になるか否か不安が一杯ですが、ご厚意に甘んじることに致しました。レポートの内容は、林道との出会いや技術的等の経年変化を中心にしてスタートしたいと思います。

路線名	大 拱	幅 員	5.0m	延 長	6,942m
市町村名	東白川郡矢祭町大拱				
開設年度	昭和41年～44年	事業名	峰越連絡林道等		

### 1. 大拱林道との出会い

昭和40年に赴任先の棚倉で、「峰越連絡林道」として計画立案され、便益計算等に奔走し採択可能との結論が出たときの喜びがある。いろいろな事業との集合にはなったが、県南地方での採択は異例のことであった。この機会から、会津地方を中心に当該事業での計画が盛んになってきた。当時は直営で測量・設計する時代であり、公共事業では初体験であり何回も測量を繰り返しながら完成したことが思い出される。

### 2. 現地の状況

- ①国道との分岐点に建つ林道の標識を見て、走馬燈のようにタイムスリップした。県南地方には木材の標識が多いが、規模の比較的大きい林道には高規格の標柱が使われるようになってきた走りのような気がする。
- ②路体が舗装されていて、走行性や快適性が確保され、追分集落から最短での市街地へのアクセス道としての機能が、当時と比較できないほど立派な林道である。



大拱線起点側付近

### 3. 技術的な課題とその現状等

- ①岩盤の多い区間があり、当時の工法としては法勾配により近く掘削する技術が求められて、熟練者を田島から呼んで施工した。今はコンクリートモルタルで堅固な法面になって、安全性が確保され、安心して通行できる。
- ②追分側は田畑を通過する区間の路面が心配であったが、経年変化もあり路面が安定することは当然であるが、路肩の状況を観察すると、割と安定した路盤であったと思う。
- ③国有林の森林施業が課題であったが、良く管理された林分で成長も良好で、林道らしさが表現できている。
- ④水処理は、舗装されたこともあるが、湛水箇所や越流下箇所もなく良好であった。

# 次期森林経営計画策定に向けて

■ 県北農林事務所  
林業普及指導員 鈴木 一 雄

## 1 背景と目的

林野庁では、「森林・林業再生プラン」を平成21年12月25日に公表し、具体的な施策の検討を行い、平成22年11月30日に「森林・林業の再生に向けた改革の姿」をとりまとめました。これを踏まえ、森林法の一部を改正し、森林・林業再生プランを法制面で具体化しました（平成23年4月22日公布）。

この中で、1番の目玉であります「森林経営計画」策定に向けて、各農林事務所では森林組合等の林業事業体に対し指導しているところであります。

「森林経営計画」とは、属地的計画と属人的計画の2通りありますが、属地的計画を原則とし林班を最小単位として間伐、主伐、造林などの森林施業を計画的かつ効率的に実施するため、対象とする森林区域面積の二分の一以上をまとめる事が必須要件となります。

森林を整備するための国庫補助金を受けるためには、森林経営計画の策定が不可欠であります。

## 2 活動内容

当事務所では、市町村ごとに担当普及員を配置し、市町村整備計画・森林経営計画策定の指導に当たっています。森林組合等の森林経営計画候補地の情報を収集し、森林GIS等により二分の一要件をクリア出来るよう森林組合等を指導します。

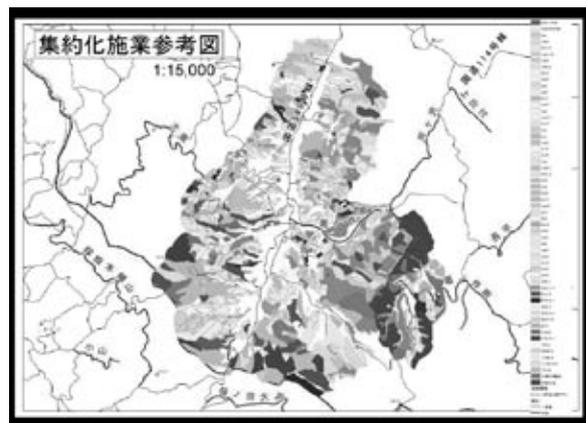
手法としては、市町村・森林組合と連携して、候補地の森林所有者に対し、集落座談会の開催、間伐講習会等により啓発活動を展開します。

合意形成の基本とするところは、団地内に効率的な路網を配置し、搬出コストの低減を図るためには団地内の森林所有者全員が賛同しないと実現できないことを切々と説いていくことです。

また、座談会においては、出来るだけビジュアルでの説明に心がけ、理解を深めるよう心がけております。



座談会の様子



経営計画の設定状況

## 3 今後の課題

効率的な路網整備には、線形内の森林所有者全員の参加が不可欠であり、同意の得られない部分は無理な勾配で迂回するか、最悪あきらめざるを得なくなり、森林経営計画自体に支障を及ぼす恐れがあります。個別訪問等の地道な普及活動の実施、不在村森林所有者への対応、森林施業プランナーやフォレスターとの連携が重要となります。



## 素材の価格〈工場着価格〉(8月15日現在)

(単位: m<sup>3</sup>当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	8 (8~9)	0	(0~0)	0	9 (9~9)	0	9 (8~9)	1
		10~13		並	スギ	11 (10~11)	1	9 (7~11)	0	9 (9~10)	△1	10 (7~11)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	11 (11~13)	0	10 (9~11)	0	10 (10~10)	0	11 (9~13)	1
				並	ヒノキ	19 (15~24)	0	(0~0)	0	16 (16~16)	0	18 (15~24)	0
		6.00	並	スギ	20 (16~24)	1	(0~0)	0	14 (14~14)	△1	17 (14~24)	0	
			並	ヒノキ	24 (24~24)	0	(0~0)	0	20 (15~25)	0	21 (15~25)	0	
	20~28	3.65	並	スギ	12 (11~13)	0	12 (11~13)	0	11 (10~11)	0	12 (10~13)	1	
		4.00	並	アカマツ	10 (8~13)	0	(0~0)	0	9 (9~9)	0	10 (8~13)	1	
		1.80	並	アカマツ	7 (5~10)	0	(0~0)	0	8 (8~8)	0	7 (5~10)	0	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	23 (23~23)	0	(0~0)	0	24 (24~24)	0	24 (23~24)	0
並				米マツ	26 (24~28)	1	26 (26~26)	0	24 (24~25)	△1	25 (24~28)	△1	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)	0	(0~0)	0	23 (23~23)	0	23 (23~23)	0	
			並	ベニマツ	27 (27~27)	0	(0~0)	0	23 (23~23)	0	25 (23~27)	0	
70~90		8~14	並	ラワン	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	
			並	アガチス	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	
パルプ用材	-	-	並	マツ	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	
			並	広葉樹	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	(0~0)	0	

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	(9~10)	0	9 (8~9)	0
	13~14		並	カラマツ	9 (8~9)	0	8 (7~9)	0
	16以上		並	カラマツ	10 (10~11)	0	11 (10~11)	0

- 注) 1. 前月差の△印は値下りを、\*印は前月実績がなかったことを示す。  
 2. ( )内は各地域の価格幅、( )外は各地域の平均的価格を示す。  
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。

七月の原木市場への入荷状況は、前月比二九割減(前年比二〇割減)の一六、九六四立法材となつていて、販売量については、前月比二六割減(前年比一七割減)の一七、四三六立法材となつていて、年明けの取扱量は前年比増で推移していたが、震災以降は取扱量が落ち込み、平成二三年一〜七月の取扱量は前年比でやや減となっている。  
 八月の価格については、下げ止まり、やや値を戻している。

七月の原木市場への入荷状況は、前月比二九割減(前年比二〇割減)の一六、九六四立法材となつていて、販売量については、前月比二六割減(前年比一七割減)の一七、四三六立法材となつていて、年明けの取扱量は前年比増で推移していたが、震災以降は取扱量が落ち込み、平成二三年一〜七月の取扱量は前年比でやや減となっている。  
 八月の価格については、下げ止まり、やや値を戻している。



### 桜と囲碁

会津農林事務所森林林業部  
 林業課主任主査  
 大竹 国 義

会津若松市門田町米代(国道二二号線沿)に会津タクシー会社がある。その国道沿いから狭い路地を二〇〇m程入ると宮崎家が見えてくる。その正面玄関近くに行つて漸く記念碑(案内板)を見つけることが出来た。「山本覚馬・新島八重生誕の碑」である。

「山本覚馬・八重兄妹」は、会津藩砲術指南役、山本権八、母咲の子として若松城下の米代四丁目に生まれた。山本家は武田信玄の軍師として知られている山本勘助の子孫で、兵学をもつて会津松平家に仕えた。この山本兄妹は、戊辰戦争後、京都で新島襄と共に同志社を創立し、キリスト教の普及や子女教育のため大きな功績を残した。新島襄の妻として共に活躍した八重。平成二五年度NHK大河ドラマ「八重の桜」の主人公である。会津鶴ヶ城落城の折、最後まで籠城して戦った男勝りの勇敢な一人の女性を描いた物語である。

うとしている。正之は幼名「幸松」(二〇歳まで)という。以外にも囲碁を好んだ人物である。十三歳頃には、当時専門家の安井算哲(当時名人各の本因坊に對する御三家の一人)と三目で対戦していたが、数年後には算哲でもかなわない相当の棋力になっていった。また、将棋も好んで指し、囲碁を通しての大局観、将棋を通しての勝負感を学んだと評されている。今年には正之生誕四〇〇年である。これを機に、願わくば大河ドラマに登場し、会津・福島県を一層盛り上げてもらいたいものである。

今、福島県は東日本大震災(原発による風評被害等...)により全県民が苦悩しております。この困難な時にはたして「正之」はどのようなリーダーシップを発揮したであろうか。正之の墓は猪苗代町見弥山の土津神社にあります。興味のある方はぜひ参拝してみたいかがでしょうか。



山本覚馬・新島八重生誕の碑

団体のページ

研修日程〈表-1〉

<b>9月20日</b>	(10:00~11:00) 主催者あいさつ、研修の目的、研修の流れ
	(11:00~12:00) 24年度からの取り組み (森林経営計画の概要等) 全森連 組織部 研修課 本多氏
	(13:00~14:00) 森林・林業再生プランと提案型集約化施業の意義 福島県農林水産部 林業振興課 鈴木主任主査
	(14:00~15:00) 提案型集約化施業の実践方法 全森連 本多氏
	(15:00~17:00) 事例紹介 こんな方法で提案型集約化施業に取り組んだ! 福島県北森林組合 佐藤氏・田村森林組合 坪井氏
<b>9月21日</b>	(8:30~11:30) 施業団地の視察 (田村森林組合・ふくしま中央森林組合)
	(12:00~13:30) 間伐生産性・コスト分析シートの解説 全森連 本多氏
	(13:00~13:30) ワークショップ①自己の実践状況と共有
	(13:30~14:00) ワークショップ②課題の洗い出しと共有
	(14:00~14:30) ワークショップ③解決方法とアクションプランの策定
	(14:30~15:00) ふりかえり・終了

平成二十三年九月二十日(火)～二十一日(水)の二日間、田村市常葉町の田村森林組合会議室を研修会場に一九団体三六名が参加し、「森林施業プランナーフォローアップ研修」を上記日程(表-1)のとおり開催しました。



森林施業プランナー  
フォローアップ研修



研修の様相



施業団地の視察

「提案型施業は事業者が森林所有者に代わって地域森林管理経営を行うものであり、森林施業プランナーの主な役割は、森林所有者にビジョン(将来の構想)にもとづく施業内容およびその事業収支を提案し、地域を取りまとめ、一体的な施業をアレンジ(配置)することです。この研修は、基礎的研修を受けた

方を対象に、実践を交えて、レベルの向上や意見交換を図ることを目的とした福島県森林整備担い手対策基金事業の一環として位置づけられております。講師には、平成十九年度より実施されてきた「全国のモデル森林組合等での森林施業プランナー研修」での実績を基に全国森林組合連合会組織部研修課 本多孝法氏よりご指導いただいたほか、県林業振興課 鈴木主任主査、福島県北森林組合 佐藤氏、田村森林組合 坪井氏からも講話をいただきました。

そのためには、「森林施業プランナー」の果たす役割は大きくなり、森林所有者に対して、よりよい提案をし、効率且つ有効な森林施業プランを作成することが求められます。それと同時に、森林林業再生プラン、国内木材自給率五〇

を目指す時代に対応していくためにもすべての林業関係者の均一的な個々の技能レベルの確保が重要ではないかと考えます。福島県は三月の震災来、人類で経験のない未曾有の災害に直面し、「森林」「林業」の存続をかけ、また森林所有者が「森林」から心を離さないよう、私たち森林組合は努めなくてはならない使命感を持って立ち向かっていかななくてはならない局面にあるのではないのでしょうか。平成二四年度からは、「森林施業プランナーの資格認定」が始まります。福島県内には、全森連が実施したステップアップ研修による基本技術認定者七名を含めると森林施業プランナー基礎的研修終了者が五七名おります。

今回の森林施業プランナーフォローアップ研修が森林施業プランナーの資格認定の一助として、参加者に有意義な研修であったことを願います。

福島水源林整備事務所だより

# うつくしま未来博 成果継承事業



(独) 森林総合研究所森林農地整備センター  
福島水源林整備事務所

今年も「うつくしま未来博成果継承事業」として、こども達やNPO法人「会津の森林を育む協議会」の人々によりコナラの植林地の手入れが行われました。

ご承知の通り「うつくしま未来博」は二〇〇二年に須賀川市で開催されましたが、日本で初めて森林の中で開催された博覧会でありました。「自然との共生」がテーマで、大会宣言にもあるように、森で見つけた自然のすばらしさや先人達の豊かな知恵、ふるさとを守るボランティアの心を未来に引き継ぐために、大会期間中に自然に関する数多くのイベントが行われました。会津若松市の「芦ノ牧水源の森」にある水源林造成事業の契約地内でも、「うつくしま未来博どんぐり倶楽部」が育てたどんぐりの苗木が博覧会開催記念として植樹されました。

今年には国際森林年であり、うつくしま未来博成果継承事業も一〇回目を数えました。また、事業地を提供している水源林造成事業も創設五〇周年という節目の年に当たりますので、紙面をお借りして、ボランティアのみなさんの今年の活動状況を報告させていただきます。

七月三日(金)は薄曇りの天気でしたが、会津美里町立本郷第一小学校の中高学年十三名と保護者、地元NPOメンバー、後援者、関係者など総勢約四〇名が元気に芦ノ牧の森林に集まりました。

活動母体であり主催者でもある会津の森林を育む協議会の穴澤会長の挨拶と、後援者である芦ノ牧財産管理会の芳賀会長及び森林農地整備センターの佐藤所長から歓迎の言葉を受けました。その後、会津若松地方森林組合の渡部参事から下刈り鎌の研ぎ方と使い方を教わりました。(写真1)(写真2)

実際に自分で鎌を研ぐこども達の目は真剣そのもので、見ている大人がハラハラし



写真1



写真2

通しでした。装備を整えた子供達は三班に分かれてコナラの林に入り、汗まみれになりながら約一時間鎌を振るいました。

頑張ったあとはイワナのつかみ取りです。小沢の生け簀でイワナを手づかみしたり、川底にサンショウウオを見つかったりと楽しく自然に触れ合いました。(写真3)(写真4) 捕まえたイワナはさっそく炭火で焼いて



写真3



写真4

貫つて、お弁当のおかずになりました。

財産管理会婦人部の好意で振る舞われた豚汁には参加者全員が大喜びで、ドンブリ三杯も平らげた強者がたくさん出るほど美味しかったです。

腹ごしらえの後は、もりの案内人の荒井さんから清流と魚の話をお聴きしてお勉強です。

イワナはサケの親戚で、海に下らなくなっ



写真5



写真6

た種類だと聞いて驚いていました。(写真5)(写真6)

会津農林事務所の渡辺主査と一緒にネイチャーゲームを楽しんだ時は、「森林にある青いもの」探しでも苦勞していました。

森林農地整備センターの蓼内主任が出題した「木へんの漢字クイズ」では、「桐」と「松」の字が出てこなくて最後まで苦しみましたが、みんな力を合わせて正解にたどり着き、全員が褒美をゲットしました。

最後に、うつくしま未来博成果継承事業の活動を紹介する看板を参加者で立て、記念撮影をしました。(写真7)(写真8)



写真7



写真8

あつという間の五時間でしたが、子供達は森林と水の役割を知り、森林を大切にする心と共に自然の厳しさを楽しさ、山仕事の苦勞や山の知恵など多くのことを学びました。

苗協メモ

福島県産の  
優れた種子・  
苗木に期待



この度の東日本大震災により、森林・林業・木材産業の受けた被害は未曾有の規模となりました。

当組合員の中にも、地震により家屋等の倒壊した者が多数居ります。また、津波により家屋や事務所、ハウス等を流失した者が居ります。さらに、原発事故による避難指示のために、未だに自宅に戻るめどが立たない状態で、避難先で不自由な生活を強いられている者も居る等、甚大な被害を受けましたが、多くの組合員が皆無事であったことは何よりであったと、組合員一同励まし合って頑張っております。

当組合は、組合員生産苗木のほとんどを国有林と森林農地整備センター山行苗木として出荷しております。わが国には、国土面積三七七九万鈔の約二割、森林面積の約三割に相当する七五八万鈔の国

有林があります。福島県内の国有林野は四一萬鈔ですが、今年には地震と放射能汚染の影響により、春の植樹ができなくなった箇所があり、当組合の生産者も残苗が発生する事態となつてしまいました。

森林は、「土砂崩れの防止」「洪水の緩和」「良質な水の提供」「地球温暖化防止」等、私達にとって重要な役割をになつており大切な財産です。戦後を中心に造成されたスギ、ヒノキ等の人工林一、〇〇万鈔も伐採して材木として利用可能な時期を迎えています。しかし、製材用材の需要の減少が著しく、昭和四八年に比べて、平成二一年の需要量は三割程度にまで落ち込んでいます。木材需要の半数を占めるパルプ、チップ用材の需要も減少している現状です。里山も薪や炭の需要の減少により、

放置されたままの林が増え、竹の林やつるに覆われた木々も目立って増加しているように見えます。

農林水産省でも、「森林・林業再生プラン」を策定して、

- ①森林計画制度の見直し
- ②適切な森林施策が確実に行われる仕組みの整備
- ③低コスト化に向けた路網整備等の加速
- ④日本型フォレスト等の人材の育成

により、十年後の木材自給率五〇％以上を目標に取組を開始されました。

苗木の生産には、多くの労力が掛かります。春に組合から配布した品種系統の明確な種子を用いて苗畑に蒔きます。野菜や花の種と異なり、苗木の種の発芽率は、二三年度配布のスギ種子で二八割、ヒノキの発芽率は二二割と大変低いのです。まばらに発芽した状態では、成育にばらつきが出てしまいます。苗が同じように成長できるように平均に植え直し、水や肥料をやり、消毒をし、根切りをして、二回植え替えをして、苗畑の適切な管理の下、三年目によつと出荷できるのです。

苗木の需要の減少に加え、植樹の入札制度導入により、造林請負者に

よる県外からの安価な移入苗木による植樹が増加しています。それに、福島県産の苗木は放射能汚染の風評の影響から、県外移出の望み薄の状態に追い込まれております。県内の苗木生産者も高齢化が進んでおりますが、機械・器具の改良と創意工夫により苗木生産技術の向上に努力しております。今後はスギ花粉症対策品種やマツノザイセンチュウ抵抗性マツ品種の苗木生産が必要となります。福島県林業研究センターを中心として、優良品種の種子が早く開発されるよう強く望んでおります。

また、九月二日に福島県予算編成に対する要望聴取会が開かれました。その席上、当組合は、

- ①造林用苗木の生産体制の維持確立のため、造林予算の拡充
- ②被災した海岸防風林の復旧予算の確保
- ③地産地消の観点から、県内産苗木による造林事業の実施

を要望し、県の造林予算の確保を強く要望しました。

福島県の優良な森林造成のため、福島県産の優良苗木による造林が推進されるよう期待しております。

## 表紙の写真



### 炭焼き体験

第7回ふくしま森林・林業写真コンクールで入選となった小田島守明さん(郡山市)の作品。

## 訂正とお詫び

No.566 2011年10月号のとびらで、田人林業研究会長 蛭田 一氏は、「福島県林研グループ連絡協議会長」の誤りでした。関係の皆様にも多大な迷惑をお掛けしましたが、ここに訂正してお詫び申し上げます。(編集部)

編集 福島県内四森林管理署  
 福島県林業協会  
 福島県森林組合連合会  
 福島県木材協同組合連合会  
 福島県緑化推進委員会  
 福島県農林種苗農業協同組合  
 福島県林業公社  
 森林総合研究所福島本源林整備事務所  
 福島県林業協会  
 福島市中町五番八号県林業会館内  
 発行 陽光社印刷株式会社  
 発行人 渡辺卓治  
 (定価 六三〇円)

庭のナツハゼが真っ赤に色づき、窓越しに残り少ない秋を楽しんでいる。私はナツハゼを紅葉撮影の目安木としている。ナツハゼが終わり、サラサドウダンの紅葉が始まると安積平野は黄金色から晩秋の装いとなり、安積山(額取山)から冬將軍が一気に下りてくる。

ところで、今春は東日本大震災と東京電力の放射線事故などで稲の作付が激減したが、田植を行った地域で実りの秋を迎えた。放射線の影響で収穫を心配していたところ、知事の安全宣言で県内各地で収穫が始まり、品質検査などを経て農協が買い取ることで不安は解消された。しかし、県産米が売れる保証はなく、原発事故による不安と悩みを抱えた一年も残り少なく、放射線の除染など大部分が未解決のまま年を越しそうである。

この悩みとは別に風評被害などにより県産米の不振が続けば、農家の米作りの意欲が低下し、担い手不足と高齢化が深刻な日本農業は深刻さを一気に加速することになる。話は変わるが、写真仲間が新潟県に出かけ、新米を購入しようとしたところ、事前に約束した価格の二割アップを提示され、農家の駆け引き上手に舌を巻いていた。

彼の話によると震災や放射線問題、水害等で本県産米の収量が落ち込むと見込んでいたところに、本県からの取引が増えたのが原因で、今後の米価を注視するよう助言を頂いた。因みに魚沼産米は有名な銘柄米だが庶民にとっては高嶺の花でもある。一方、郡山市内で米作りをしている友人から、農協が昨年並みの価格で買ってくれるが、子どもを持つ家庭からの予約取り消しが多いと今年の米事情を聞いた。余談だが、近くの米販店によると昨年度の県産米は完売したが、今年の本県産の新米の売れ行きは不振の様である。

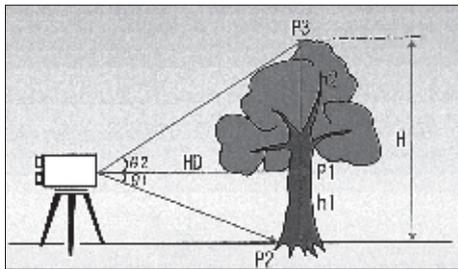
今年の県産米の不振を予想はしていたが、現実のものになって見ると安全・安心神話を信じていた国民の生活が壊され、収束の見えない原発への不信は想像以上である。この様な時に産業界はコスト削減や電力不足、放射線や円高による輸出の減少等から国外への転出が相次ぎ、不景気も加わり収穫の秋に笑顔が見られないのが残念でならない。 佐藤徹風



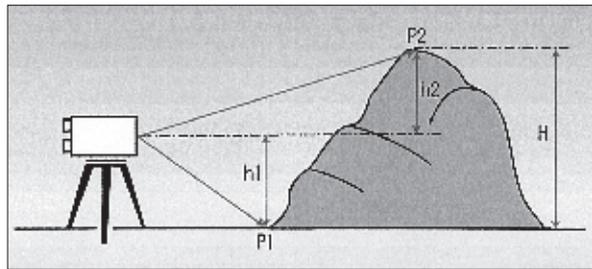
## 不安だらけの実りの秋

## 高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合



2. 堆積物等の山なり形状の場合



### 【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



# LDM-20

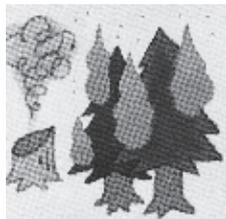
レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

# 備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



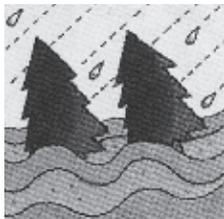
## 1 火災

山火事で受けた損害



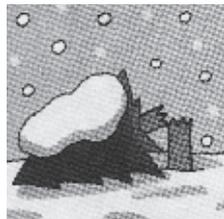
## 2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



## 3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



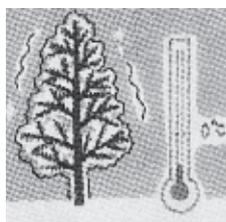
## 4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



## 5 干害

乾燥による枯死などの損害



## 6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



## 7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



## 8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》

- ◆ 県内各森林組合
- ◆ 福島県森林組合連合会

又は 県庁森林保全課  
TEL 024-521-7441

イワフジのプロセッサ

**GP-45V** グラップルプロセッサ

**IWAFUJI**  
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を追求したプロセッサ

- 高耐久性を追求したフレームとトンク
- 全旋回を無くしたシンプル設計
- カッタ保持はシンプルなスプリング式
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラップル作業
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク
- 高速コンピュータGP-7による精度の高い安定した測尺
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能

Simple Processor  
MODEL : GP- 45V

**イワフジ工業株式会社**

www.iwafuji.co.jp

北関東支店 〒969-1149 福島県本宮市本宮万世11-7  
TEL 0243-34-5440 FAX 0243-34-5442

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・グラップルシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!



# 自然との調和

( 私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。 )  
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

**野生動物から大切な植栽木を守る**

ツリーセーブ  
ヤシマレント

**盗みされ防止**

ハチノックL (網隠し)  
ハチノックS (携帯用)

**大切な日本の松を守る  
ヤマの林業薬剤**

ヤシマスマイバイン乳剤  
ヤシマスマイバインMC  
グリーンガードエイト  
パークサイドF  
ヤシマNCS  
モリエートSC  
マツグリーン液剤2

**くん蒸用生分解性シート**

ちゆらシート (茶・白)  
NCSシート (透明)  
与作シート (茶・白)  
(折りたたみ式  
専用キャリアバック使用)



## 住化グリーン株式会社

本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀4丁目5番4号 TEL.03-3523-8070 FAX.03-3523-8071  
東北営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央3丁目10番3号 泉セントラルビル202号室 TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

## 効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

# 機器はゼノアから

排気量 **18.3cm<sup>3</sup>**  
世界最小・最軽量、2.2kgの手のひらサイズ



**G2000T** 

20cm(8インチ)・SP ¥66,675(税込)  
20cm(8インチ)・CV ¥72,765(税込)

排気量 **40.1cm<sup>3</sup>**  
さまざまな用途に対応、本格プロ仕様シリーズ



**G4211EZ** 

40cm(16インチ)・SP ¥135,660(税込)  
45cm(18インチ)・SP ¥137,865(税込)  
40cm(16インチ)・H ¥135,660(税込)  
45cm(18インチ)・H ¥137,865(税込)

使いやすさを  
追求したハンドルと  
思いのアクセルワークが  
可能なトリガーレバー。



**BC2711DW1-EZ**

・防振ハンドルブラケット  
・トリガーレバータイプ  
チップソー ¥79,380 (税込)  
笹刈刃 ¥78,330 (税込)

## ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店

# (有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1